

## 新青丸 共同利用研究航海報告書

\* 航海番号

KS-25-4次研究航海

\* 航海名称

(和文) 亜熱帯モード水が鉛直拡散を介して生物地球化学過程に及ぼす影響

(英文) Impact of the Subtropical Mode Water on biogeochemistry via vertical mixing

\* 観測海域

(和文) 黒潮続流南方海域

(英文) South of the Kuroshio Extension

\* 航海期間

令和 7年 5月 2日 (金) ~令和 7年 5月 12日 (月)

\* 出港日時・場所

5月 2日 14時 高知港

\* 入港日時・場所

5月12日 11時 横須賀港

\* 寄港期間・場所

なし

\* 研究課題

亜熱帯モード水が鉛直拡散を介して生物地球化学過程に及ぼす影響

\* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)

桂 将太、東北大学大学院 理学研究科、助教、shota.katsura.e8@tohoku.ac.jp

\* 研究内容、主調査者 (e-mail アドレス)、観測項目

1. 亜熱帯モード水の水平分布、および生物地球化学(BGC)パラメーターの鉛直構造、桂 将太 (shota.katsura.e8@tohoku.ac.jp)、XCTD 観測、CTD 観測及び採水、Underwater Vision Profiler(UVP)付き BGC フロートの投入・回収、CTD 取り付け型 UVP、硝酸塩計 Deep SUNA

2. 亜熱帯モード水域の乱流の鉛直プロファイル、長井 健容 (tnagai@kaiyodai.ac.jp)、乱流計付き BGC フロートの投入・回収、Underway-VMP、SUNADAYODACam

3. フロート搭載型次世代 pH センサー試験機の性能評価試験、細田 滋毅 (hosodas@jamstec.go.jp)、pH センサー観測

4. pH・アルカリ度計測システムの性能評価試験、茅根 創 (kayanne@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、pH・アルカリ度センサー観測

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

桂 将太・東北大学 理学研究科・助教

細田 滋毅・海洋研究開発機構 地球環境部門・グループリーダー

鋤柄 千穂・海洋研究開発機構 地球環境部門・副主任研究員

中野 善之・海洋研究開発機構 技術開発部・副主任研究員

茅根 創・東京大学 工学系研究科・特任研究員

長井 健容・東京海洋大学海洋 環境科学部門・准教授

井上 龍一郎・海洋研究開発機構 地球環境部門・主任研究員

中村 航・東京大学大気海洋研究所 共同利用・共同研究推進センター・特任研究員

Catherine Smith・東京大学 大気海洋研究所・大学院生

Randi Firdaus・東北大学理学研究科・大学院生

Jedi Jamar i Manullang・東北大学理学研究科・大学院生

Gloria Silvana Duran Gomez・東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科・大学院生

Kelly Sofia Manyahuillca Gutierrez・東京海洋大学大学院 海洋環境科学科・特別聴講学生

多田 拓哉・北海道大学水産科学院・大学院生

\* 航跡・測点図

